

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
上里総功	観光産業の振興について	本町においては、今まで観光客誘客のために島の学校、バーデハウス、久米島野球場、ホタルドーム等の施設整備がなされ、受け入れ体制は強化されてきたが、結果として観光客は9万5千人台である。また、1月6日には、観光客入域客数の減少に歯止めをかけようと久米島観光危機突破総決起大会が開かれ、300人の関係者が参加をし、危機突破を誓ったということであります。そこで、観光客入域の低迷の原因は、経済不況も考えられるが観光協会の体制に問題はないのか伺いたい。	町長	現在観光協会では、毎月の定例理事会の開催、また総務企画部、誘客宣伝部、受入促進部、青年部、各種委員会が機能し、現状分析や事業計画・実施など、活発な事業運営に努めており、効果は徐々に出てきていると思います。しかし、まだ改善するところはあると思いますので、協力して取り組んでまいります。
仲村昌慧	学校統廃合について	学校統廃合については、1月29日第3回検討委員会で、中学校の統廃合を先にし、2校案で検討することが話し合われた。これまでは統廃合については教育長の見解を伺ってきたが、統廃合については町長と教育長の強いリーダーシップがなければ大変厳しいものと思われる。町長は施政方針で、学校統廃合を推進し、老朽・危険校舎の改築事業を推進していくと述べているが、現在の久米島町の財政状況と生徒数からすると島の幼・小・中学校の望ましい学校数はそれぞれ何校と考えるか。統廃合の組み合わせ、形態はどう考えているか。統廃合について、町長の見解を伺いたい。	町長	幼稚園・小学校・中学校の望ましい学校数については、久米島町立幼・小・中学校統廃合検討委員会の答申を受けて判断したいと思います。中学校は第3回統廃合検討委員会で2校の案で話し合われております。統廃合の組み合わせ・形態については、基本的には統廃合検討委員会の答申を尊重したいと考えています。
仲村昌慧	農業振興地域見直しについて	平成15年12月定例会において、当時の同僚議員が「旧仲里地区の農業振興地域の見直しが相当年数なされていないが、その理由、経緯と今後のスケジュールを示してもらいたい。」との質問に対して「総合見直しができなかった理由は、ゴルフ場建設関係との問題があつてできなかった。平成16年10月頃に総合見直しができる予定である。」と答弁しているが、16年度に総合見直しができたのか伺いたい。その後、総合見直しができたと思ひ本人所有の土地を宅地転用申請したが、書類不備という理由で対応している。それは適切な対応であつたのか。また、今後の総合見直しについて伺いたい。	町長	農業振興地域整備計画については、平成16年度に総合見直し作業を進めておりましたが、ゴルフ場等の開発計画が具体的に進展しなかったために、農振見直し作業は一時中断している状況にあります。 ・宅地転用申請(農振一部除外)については、ご質問の方(申請者)と平成16年度当時の担当者との意見の食い違いがありますが、申請者に誤解を与えるようなことがあつたことは、不適切な対応であつたと思います。 ・現在、国土利用計画と農振の総合見直し作業を同時並行で進めておりますので、平成22年度においては地元での調整作業を終わらせて、平成23年度中には県との事務手続きを完了させたいと考えております。
安村達明	外灯の設置について	謝名堂2号線はイーフ、比嘉、謝名堂とを結ぶ住民の生活道路であり、大変交通量が多く、日頃から夕方以降は特別危険な状況が見受けられる。町長は、常に住民の発展と幸せのために、愛と夢と安心をモットーにされております。この道路に外灯を設置し、スポーツ少年や住民の生命安全を守ったら如何なものか。町長の見解を伺いたい。	町長	外灯設置につきましては、数年前から各字の区長から要請等があり、平成21年度、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により工事実施をした所であり、要望箇所については全て対処したつもりであります。安村議員の質問にあります箇所については、その地域の区長及び住民の意見及び、該当事業の有無等々も確認しながら対処致します。
安村達明	謝名堂川の修復について	謝名堂川の間知ブロックが崩落し、農道まで崩れかけ大変心配との意見が多数あるが、早めの修復作業が望まれる。崩壊の箇所が小さい時程町の負担は少なく済むと思うが如何なものか。町長の見解を伺いたい。	町長	同河川につきましては、2級河川に指定されており、現在管理は沖縄県となっております。後日、現場を確認し対処致します。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	<p>本年2月21日の沖縄タイムスに、20日の仲井真県知事との会談で、平野博文官房長官は普天間飛行場移設問題について、「常にベストを求めていくが、やっぱりベターになるかもしれない。これも政治。理解いただいた上で判断を頂ければいけない」と県内移設を示唆したという。また、沖縄県以外を視察するののかに対して「ノーコメント。私が動くみんな基地だと思って引っついてくる」と述べたとも。又、この人、辺野古移設反対を公約した名護市長誕生の際、「選挙結果を斟酌しなければならぬ理由はない」との放言もあった。私はこの人は生意気な人だと思う。深く気を用いない非民主的で、独善的な人だと考えている。策士然として、地ならしのつもりでいると思う。米兵によるひき逃げ死亡事件に関わる地位協定で沖縄県民が人権を蹂躪され隷属的な扱いを受けているかを意に解していない。民主党もこのような人が増えることによって、戦前への日本に回帰することを危惧する。以上の事から、次の事項について町長に伺いたい。一つは、平野発言についてどう思うか。二つは、鳥島射爆撃場の再契約はないと公言しているが、平野発言にめげずにその決意を貫徹していくか。三つ目は鳥島射爆撃場早期返還町民総決起大会の開催について、具体的な案があれば示して欲しい。</p>	町長	<p>一つ目の平野官房長官の発言に対しては、マスコミ等でいろいろ報道されていますが、マスコミ報道が長官の真意をすべて伝えているとは限りませんので、コメントは、控えさせていただきます。二つ目の鳥島射爆撃場の新たな予約(契約)については、行わない方針であります。三つ目の町民総決起大会については、関係者の意見を聞いて、効果的なタイミングで実施できるよう検討します。</p>
宇江原総清	コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について(河川を含む)	<p>平成22年度の施政方針についてラムサール条約湿地への登録日本の里百選への選定については、農業、漁業及び林業等一次産業へ繋がり高く評価したい。何故なら一次産業を基盤とするものは自然であり、観光産業を支えるのは一次産業と考える。しかし、コンクリート護岸は、潮害・塩害を発生させ、農作物や木々を枯らし、海をも枯らす。私は、真泊の一字、畳石の階段式護岸とシンリ浜護岸の何れか一つを元の自然に戻したらどうかと提案したい。河川についても昔の自然の川に戻すモデルケースを造ったら如何なものか。伺いたい。</p>	町長	<p>海岸護岸の管理者は沖縄県であり、管理者と調整を図っていますが護岸の必要性の部分や撤去における費用対効果の面で難しいとの判断であります。今後とも引き続き調整を図って参ります。また、今後本町で整備する河川については、近自然的な工法で検討いたします。</p>
宇江原総清	久米島3中学校の統廃合について	<p>平成22年度の施政方針について、教育環境の充実、人材育成の推進については、大方評価するが、具体的な事項として、学校統廃合の推進には反対である。この件は1月24日の新聞にも「久米島3中学校統廃合3案に絞る。町教育委員会29日に検討委員会に提案」との報道がされている。この件は町民は良く呑み込んでいないとおもう。部落単位、校区単位に十分な説明をするべきと思う。私は、子供は社会の宝であり、教育は財産であり、地域を活性化させる薬であるとする。政府は子供手当の支給、高校の学費無償化等少子化対策と共に教育の向上をめざしている。今一度政府の施策を見る必要がある。また、補助事業等を含めて、十分な事業仕分けを行い、学校施設等、学校事業に充てる事が先決だと考える。フィンランドやブータンの教育制度を見習えば良いと思うがどうか、伺いたい。</p>	町長 教育長	<p>幼稚園・小学校・中学校の統廃合の町民への説明会につきましては、平成20年11月に3中学校体育館で開催、21年1月に各小学校体育館で開催しました。また、4月以降地域説明会を開催予定ですので、多くの地域の方々の参加をお願いしたいところです。外国の教育については、一長一短あり、又、国レベルの施策となりますので、コメントは控えたいと思います。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原総清	久米島紬の振興について	<p>去った、2月5日、6日に久米島紬特別企画展で「久米島紬未来への想い」というタイトルで久米島紬の新作絵図柄並びに新作着物発表が催されたが内容が素晴らしく感動いたしました。今まで久米島紬の図柄は幾つかの絵図を組み合わせ、それをワンパターンで織っていくものだと思っておりましたが、伝統的染め織物としての素晴らしさは理解しているつもりだった。しかし、今回の新作発表、特に新作着物ファッションショーを観て久米島紬の素晴らしさを改めて再認識させられた思いである。そしてこれを契機に久米島紬を益々振興発展させるということで、町長は2月6日を「久米島紬の日」として制定すると宣言した。以上のことから、次の3点について伺いたい。</p> <p>(1)久米島紬の生産拡大及び販路促進はどう図っていくか。 (2)2月6日の「久米島紬の日」をどう定着させていくか。 (3)現在実施している織子養成修了者の定着状況はどうなっているか。</p>	町長	<p>久米島紬事業協同組合と連携し次のことについて推進してまいります。久米島紬の生産拡大及び販路促進については、取引先との連携強化と新たな取引先の開拓、島民や郷友会を含む県内消費者への販売促進、現在のニーズに応える商品製作などを推進します。久米島紬の日の定着については、愛用運動の記念日として愛用する行事等を開催し定着を図ります。織子養成修了者の定着状況は、70%程度で、今後とも織子養成事業を支援してまいります。</p>
宇江原総清	観光産業の現状について	<p>全国的な不況で、当町でも観光は低迷にあり、他の産業にも大きな影響が及んでいる。これまでの観光から目的型観光に変わっている中、当町では色々な観光メニューに取り組んでいるが、それぞれの実績を具体的に示して欲しい。また、これからの取り組み等について伺いたい。</p>	町長	<p>20年度実績での観光入域数は96,384名で前年度より2,152名増となっており、その中で目的型観光で数字に挙げられるものとしては、重複はありますが、次のとおりです。修学旅行2,748名、島の学校6,013名、食物アレルギー214名、久米島マラソン1,184名、ウォーキング318名、バーデハウス30,608名、キャンプ場930名、紬体験7,994名です。また、スポーツキャンプや少年野球等スポーツ大会等でも数千人の入域があります。今後も目的型観光に力を入れ、新たな高齢者対応型観光や、島の魅力ある素材や資源を活かした観光商品づくり、イベント開催を推進してまいります。</p>
崎村正明	さとうきび運搬について	<p>今期の製糖は前半に雨が多く、ほ場にトラクターが入れない為搬出できなかったり準備はできているが農道の崩壊とトラックが入れない為、運搬ができないのが何件もあったが生産農家の立場になって行政として何か対策はできないか。次の2点について伺いたい。</p> <p>(1)前の議会で同僚議員の一般質問に対しての答弁によると、クレーン廃止になったが再度導入できないか。 (2)各地域の農道整備を早急にできないか。</p>	町長	<p>(1)クレーンの件については、前回答弁したとおり、法律的な問題がありますので再導入は考えておりません。 (2)今製糖操業期間は雨天続きにより農道の決壊が随所に見られ、農家の皆様においてはサトウキビ搬出時に大変ご苦労されていると聞いています。行政としては農家及び地域から対策要求については即時対応はしていますが、簡易的な補修だけであります。本格的な整備となると、町の単独予算では厳しいため国及び県の補助事業に頼るしかありません。今後、現場を十分調査し補助事業導入による整備に向けて鋭意努力致します。</p>
崎村正明	PTA活動について	<p>最近、地域、先生、親との情報交換(コミュニケーション)が少なく、学校現場の状況があまり把握できない。各種行事終了後の反省会(意見交換会)などの在り方について伺いたい。</p>	教育長	<p>各学校意見交換会の持ち方は学校長・教頭及びPTA役員が中心となり、各保護者や地域を巻き込んで情報交換会を行ってほしいと考えます。</p>